



Masamitsu Hirai

北海道出身。法政大学卒業後、船井総合研究所にて金融商品企画コンサルティングに従事したのち、マレーシア資本の投資助言会社CEO兼日本株運用責任者として勤務し、Bullion Japanマーケティング担当副社長を経て、現職。金融に特化したコンサルティング集団であるBLACK STAR&CO.の社外取締役も務める。

その部署は後に解体されることとなります。そのとき声をかけてくれたのが、当時の顧客であったマレーシアのリーマン・ショックの影響を受け、

**金融分野の  
コンサル業務が基盤に**  
—— ブリオンジャパン代表取締役CEOに就任するまでの経緯を教えてください。  
大学卒業後に入社したコンサルティング会社で、最初に配属されたのが金融部門でした。証券会社や投資顧問会社を顧客とするコンサルティング業務に従事したことが、今の私の基盤になっています。

アの投資会社でした。CEO兼日本株運用責任者として勤務したのも束の間、今度はギリシャ・ショックが起こり、2010年に日本から撤退することとなりました。日本の事業体の一部を引き継ぐ形で事業を継続することになりました。

その後、国内の機関投資家や投資顧問会社、富裕層などを対象に、主にコンサルティングサービスを提供していたところ、顧客から「欧州で金を買いたいから業者を探してくれないか」という相談がありました。そこから行き着いた英国の会社からの「日本でのビジネスを検討

している」という話をきっかけに、2年間の交渉期間を経て、2015年から個人向けの金取引オンラインサービスを提供しています。

**事業は善、投資は悪のカルチャーに一石を投じる**  
—— BtoBからBtoCのビジネスに舵を切ったのですね。  
実は、BtoBの金融サービスには限界を感じ始めていました。金融業界では消費者保護を目的とする規制が絶えず、対応のために人員面、金銭面でのコストが要されます。消費者を脅かす会社が存在することは事実ですが、そうした会社と混同されて嫌な思いをすることも多く、辟易していました。

消費者保護は大切ですが、規制によつて個人を金融サービスから遠ざけることにも疑問を感じていました。それよりも、個人が自分で自分を守るだけのリテラシーを身に付けることの方が重要ではないかと思うのです。より良いサービスを個人に提供することで、もっと多くの日本人が資産運用に触れるきっかけをつくりたい。そう考えるようになりました。

—— 数ある資産の中で、なぜ金を選んだのでしょうか？  
大切なのは、資産運用の入り口でつまづかないこと。金は良くも悪くも堅実な資産ですから、第一歩として選択肢の一つになります。

もちろん、金でなければいけないわけではありません。例えば、10年前に買った時計が5倍に値上がりすれば、それもひとつの投資です。芸術作品でも家具でも自動車でも、もっと広い意味で投資を捉えても良いのではないのでしょうか。

日本人には、「事業は善、投資は悪」というイメージが根深く残っていると感じます。そうしたカルチャーに一石を投じるべく、従来にない金融サービスを提供していきたいと考えています。



Bullion Japan

ブリオンジャパン株式会社

〒102-0083  
東京都千代田区麹町3-5-2  
BUREX麹町8階  
<https://bullionjapan.jp>

# 資産運用に触れる きっかけをつくりたい

金取引のオンライン取引やコンサルティングサービスを提供するBullion Japan。代表取締役CEOの平井政光氏が目指すのは、より多くの日本人が資産運用に触れるためのきっかけづくりだ。

## 平井 政光

Bullion Japan株式会社  
代表取締役CEO



THE  
BULLION  
JAPAN